



切磋琢磨

豊田市立井郷中学校
令和6年 5月24日

いきいきと学び さわやかに ともにのびゆく われら井郷中生

なぜ学ぶのか？ 学びの意味！

6月3日（月）、4日（火）には、前期中間テストを実施します。1年生にとっては初めての定期テストになります。中学校では、通常の授業中に行われる小テストや単元（学習内容のまとめ）の学習後に行われる単元テストがあります。これは小学校でも実施されていたと思います。中学校では、定期テストという名称で言われるテストが年に4回あります。前期中間（これが今回です）、前期期末（9月）、後期中間（11月後半）、後期期末（2月）という位置づけです。それぞれテストの1週間前から、「テスト週間」として部活動などを停止します。テスト範囲は2週間前を目安に提示しています。小学校より、広い範囲で学習の定着、伸びを判定・評価するためのテストになります。

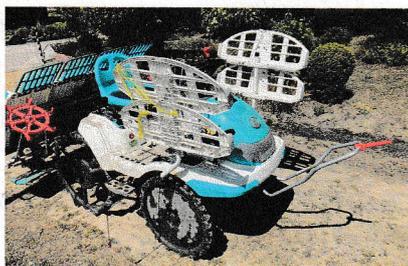
「評価」というと、通常の授業での取り組み方、発言の内容やレポートなどのまとめ方などから総合的に学習の様子を評価します。が、この定期テストでの比重が大きい教科も多いです。真剣に取り組むからこそ、そこへのプレッシャーやストレスを感じる人もいます。「勉強、勉強で嫌だな」と感じて、中学生の時期に、「なんで勉強しなければいけないのか」、「なぜ学ぶのか？」と疑問に思うことがあります。今回のおたよりが、そんな人の意欲づけのヒントになればとよいなと思います。

学ぶこと自体が楽しい人は、「もっと学びたい」と思っている。

本来、人は学ぶことに興味がある

- ・人間は、新しいこと・未知なことに対して興味がわく生き物です。歴史をたどってみれば、わかります。他の動物が恐れて近づかない「火」に近づき、使うことを知り、活用し、自ら「火」を作り出して生活を変化させてきました。
- ・思い出してください。小学校に入学した頃は、みんな学ぶことは楽しかったと思います。それが、いつのころからか嫌いになってしまうようです。

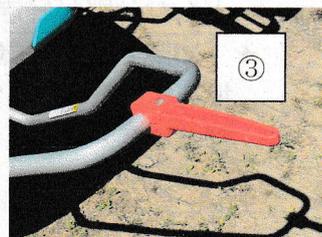
ここで質問です。



Q1 これは、何に使う道具だと思いますか？

Q2 この道具の一部分、下の3つの部分は、それぞれ何に便利なのか分かりますか？

これは？
何に便利？

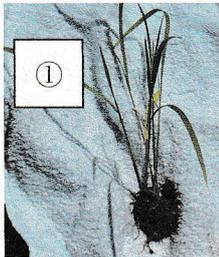


知る必要があるのか？ 意味がある、自分が必要だと思えば、学ぶ行動にやる気が出る

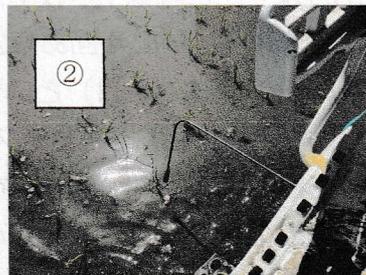
- ・ 人間は、その勉強、学びに、意味があると感じていると、やる気になります。自ら進んで、学ぼう、勉強しようと動き出します。
- ・ 表の答えは、**Q1「田植え機」**です。田んぼに稲を植えるための機械です。機械のない頃には、手で植えていました。小学校の社会で「昭和時代に機械化されて・・・」と学んだかも。
- ・ Q2の答えは、それぞれ道具①は苗をつかむ。②は苗を植える幅を測る。③は列が真っすぐになるように進む方向の目印にする。そのために便利だと発明されていった道具です。



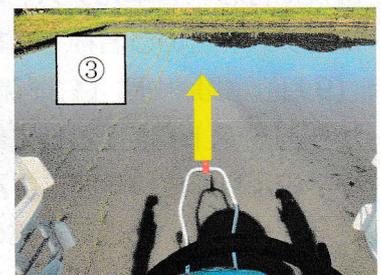
このように、苗箱を積んで、機械で植え田植え機です。うちの機械は、4列植えの機械です。(わざわざ田植えの時に、写真を撮っているなんて…)



① 苗箱から、米3粒分ほどを一度につまんで植えていきます。こんな精密に手のようにできる優れたものです。



③ 隣の列と適度に離れた列に植えるように目安の長さになります。



② 前進して進むのに、まっすぐ行ける目印として使います。

再び、知る必要があるのか？ この田植え機の「知識」は知っている必要は・・・ない。

- ・ さて、田植え機の例を示しましたが、みなさんが、農家であれば、見たことがあれば、知っているかもしれません。または、推測することもできるでしょう。
- ・ このQ1, Q2①②③は、知っている必要のない「知識」です。自分が、農業をやるようになった時に、必要となる時に、学べばよいです。一生、必要ない人も大勢います。
- ・ ただし、**何かを思いついた人、考えられた人は、思考力、推察力、想像力が高い人です。**

数学は学ぶ必要があるのか。 数学から何を学んでほしいのか。すべての学びに意味がある。

- ・ 「算数は、計算に日常必要だと思うけど・・・。方程式、関数、因数分解・・・日常で使うのか？」と問う子どもに多く出会いました。数学科を教えていると好き・嫌いという両極端に分かれやすいのです。「先生は得意だからいいけどさあ・・・」
- ・ この例からも、嫌いなものほど、学ぶ意味を見失います。もちろん深く深く専門的な物事は多くの人に必要ありません。得意な誰かが、発明・発見をして社会を推進してくれます。
- ★ **あなたの得意は何でしょう？あなたは、社会にどんな貢献ができるのでしょうか？**何ができる「社会の創り手」となるのでしょうか。可能性は無限大です。これから伸びる若者ですから。
- ★ 小学校、中学校では、将来社会に出てから、**あなた方の可能性を支える基礎・基本的な学問**を学習します。(基礎・基本ではなく、十分、発展だと感じる人もいるでしょうが・・・) どんな分野が好きか、得意かを見つけることも大切。苦手も捨てずに、少し努力しましょう。
- ★ 「知識」として覚える力、知識をどう使うか結び付ける力、考える力、分析する力、正しいのか批判的に思考する力、表現する力、相手に伝わるように観察しながら話す力、他人と協力する心などなど・・・は いつ伸びると思いますか？**今、脳が若い時に伸びます。今なんです。**